

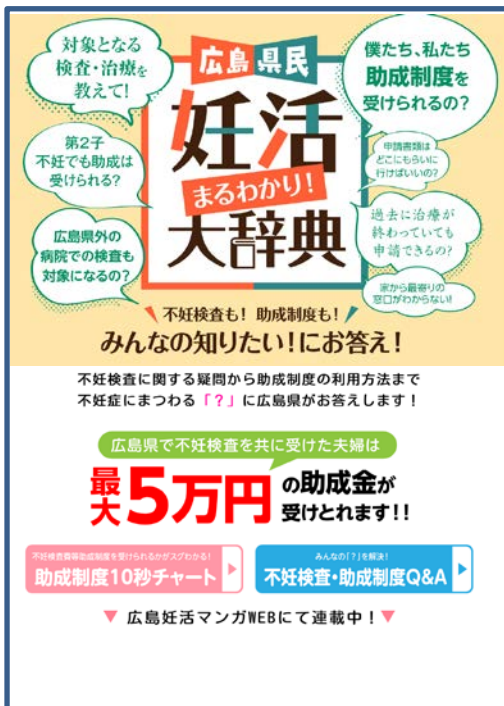
妊活や不妊に関する正しい知識の情報発信拠点 特設プロモーションサイト「妊活大辞典」を開設します 妊活セミナー・個別相談会も開催（9/22 福山会場，11/24 広島会場）

平成30年度に実施した妊活や不妊に関する県民アンケート調査（以下、妊活大調査）の結果を踏まえ、早期の不妊検査・治療の促進に向けて普及啓発を強化するため、特設プロモーションサイトを開設するとともに、SNSを活用した広報を実施します。また、啓発活動の一環として妊活セミナーを開催します。

1 プロモーションサイトの概要

妊活大調査の結果から見えた課題に対応するコンテンツを備えたプロモーションサイト（「広島県民 妊活大辞典」<http://www.h-ninkatsu.sakura.ne.jp/>）を開設し、不妊に関する知識や、助成制度に関する普及啓発を行います。

（特設サイトトップ画面）



（10秒チャート）



（WEB漫画）



○不妊検査費等助成事業 Q&A

不妊検査の治療費の目安や一般的な検査内容等の情報、助成制度に関する Q&A を掲載。

○助成制度 10 秒チャート

5つの質問項目について YES/NO を選択することで自らが対象となるか簡易にチェックできるチャートを設置。

○WEB 漫画

プロモーションサイトへの導入を図るために、助成制度をきっかけに夫も不妊検査を開始する夫婦を題材とした漫画を掲載。また、この漫画をツイッターやフェイスブック等 SNS 上で広告することで、漫画を入口として助成制度の周知を図ります。

○体験談（予定）

妊活大調査で調査した「夫が不妊検査に行ったきっかけ」を、イラストを交え紹介。

～WEB漫画のあらすじ～

妻が不妊検査をスタートした。夫は妻の治療には協力的であるが、自分自身の不妊検査の受診には消極的。妻も夫の協力に感謝をしているが、本心では夫にも不妊検査を受診してもらいたいと感じている。

県の助成制度や周りのアドバイス、妻の切実な想いに触れながら、夫は不妊検査の受診を考え始める。(全4話)

【参考 妊活大調査について】

(1) アンケートの概要

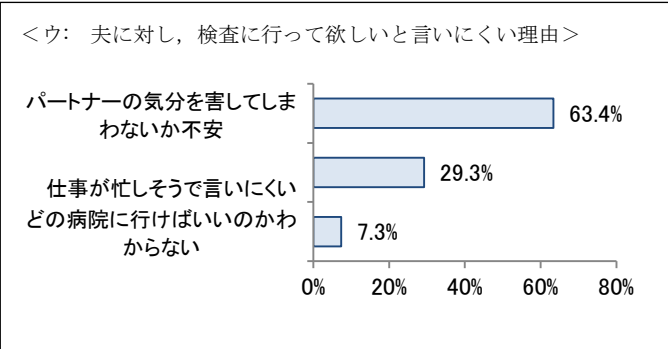
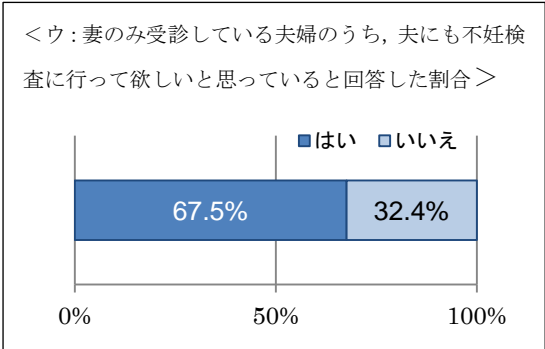
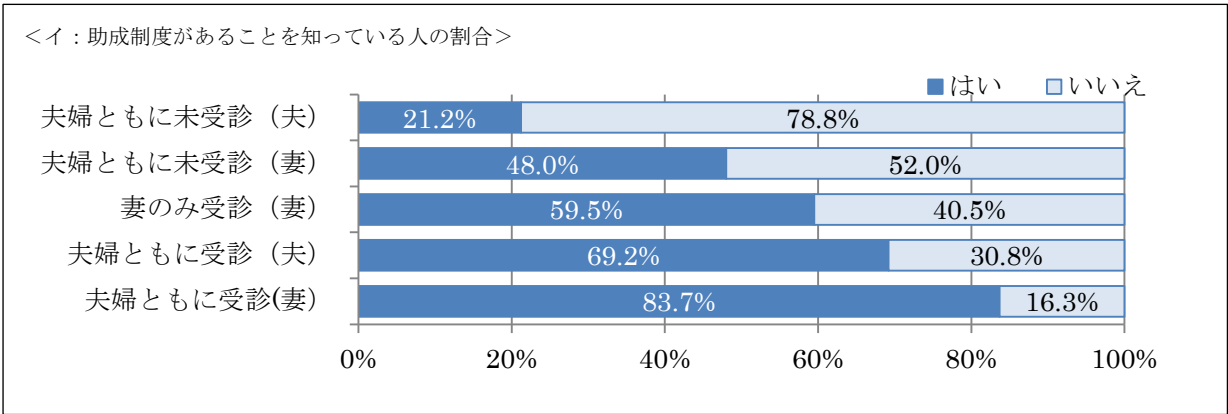
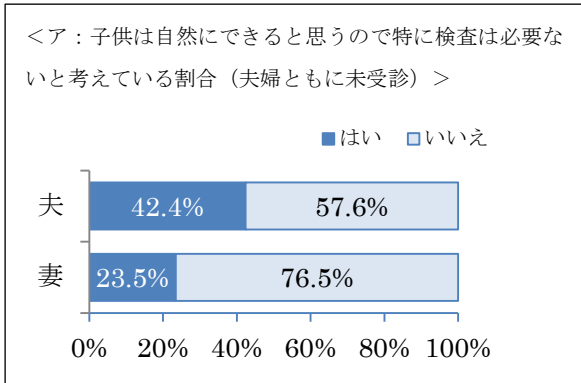
県内の既婚者を対象に、不妊に関する意識や潜在ニーズを調査した。

【回答数】 586件(夫 59件, 妻 527件)(回答者平均年齢: 夫 34.5歳, 妻 33.0歳)

【調査実施月】 平成30年6月～9月

(2) 調査結果の概要

- ア) 不妊について夫の当事者意識が低い。
- イ) 不妊検査・治療に関する情報が不足している。
- ウ) 夫に対して不妊検査を受けてほしいと言いつらい。
- エ) 検査・治療の受診にあたって職場の理解や相談相手を求めている。
- オ) 助成制度の認知度が低い。



調査結果 (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/248/ninnkatudaityousakekka.html>)

2 参考 ～令和元年度 妊活セミナーの概要～

これから妊活や不妊治療を始める方や、不妊に関する正確な知識を知りたいと思われる方におすすめの妊活セミナーを開催します。ぜひご夫婦そろってご参加ください。(詳細は別添のとおり)

【福山会場】 9月22日(日) 13:30～15:45 (福山すこやかセンター)

【広島会場】 11月24日(日) 13:30～15:45 (広島市まちづくり市民交流プラザ)

勇気を出して受診してみよう!

助成の対象となる検査を
教えて!

申請時期は
いつなんだろう?

申請書類って
何があるの?

僕にも
原因があるかも

不妊検査は 妻と夫の二人三脚

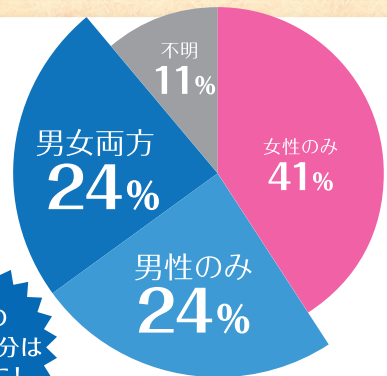
夫婦で受診する
必要があるんだ!

不妊症の約半数は男性側に原因があると言われています。
そのため不妊検査は夫婦が共に受診することが原則です。
県の助成制度を活用して夫婦で不妊検査を始めましょう。

近くの
申請窓口は
どこ?

不妊症の原因の半数が
男性側にあるというデータがあります。
女性だけの問題ではありません。

若い男性でも、先天的な異常であったり、環境の変化、ストレス等、
様々な理由で、不妊の原因を抱えている場合があります。



不妊の
原因の半分は
男性側に!

(WHOによる不妊症7,273カプルの調査)

広島県で不妊検査を共に受けた夫婦は

最大5万円

助成金が
受けとれ
ます!

【要件】
助成制度の活用には要件を満たす必要があります。詳しくはチラシ裏面をご覧ください。

不妊検査費等助成事業

対象
範囲

初診 不妊検査 一般不妊治療
(タイミング療法・薬物療法・手術療法・人工授精)

助成額

自己負担額の1/2 (上限5万円)

自分たちが助成制度を
受けられるかがスグわかる!

助成制度
10秒チャートは
こちらからアクセス



ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

広島県子育て・少子化対策課

☎082-513-3175

不妊検査費等助成制度チェック項目

- ☑ 法的に婚姻している夫婦(申請日時点)
- ☑ 広島県内に住所がある(申請日時点)
- ☑ 妻の年齢が35歳未満(不妊検査開始時点)
- ☑ 夫婦ともに不妊検査を受けている
- ☑ 過去に広島県の不妊検査費等助成制度を利用していない

自分が
不妊検査費等助成制度の
対象となるかチェックして
みましょう!



申請の手順

① 申請時期を迎えたら申請書類を入手しましょう

申請時期

次のいずれかに該当した日の翌日から起算して、原則2か月以内に申請してください。

(1)不妊検査・一般不妊治療を終了した時

終了した時とは「妊娠が判明した時点」「特定不妊治療にステップアップした時点」「これ以上検査・治療を継続しない事を担当医と決定した時点」となります。

(2)不妊検査の開始日から2年を経過した時

(夫婦いずれか早い方の開始日から起算)

※自己負担額が10万円を超えた場合は(1),(2)に該当しない場合でも申請が可能となります。この場合、医療機関の証明書は直近の受診日までを作成し、2か月以内に申請してください。

申請書類

- 不妊検査費等助成事業申請書(様式第1号)
- 不妊検査費等助成申請に係る証明書(様式第2号)
(夫婦が別々の医療機関で受診した場合は、それぞれの医療機関が作成した証明書が必要です)
- 戸籍謄本(原本)
- 広島県内の住所を確認できる住民票
(申請日の3か月以内に発行された原本であること)
- 振込先口座の通帳の写し
(口座番号・口座名義人・銀行本支店コード等が記載された頁)
- (院外処方がある場合のみ)院外薬局の領収書の写し
※添付書類(住民票等)は、すべて個人番号(マイナンバー)の記載のないものをご用意ください

② 受診した医療機関に証明書(様式第2号)の作成を依頼しましょう

(証明書の作成料が発生した場合は助成対象金額に含めることができます)

③ 医療機関の証明書を確認しながら、 申請書(様式第1号)を作成してください

申請様式は
各申請窓口で配布している他、
県のホームページからも
ダウンロードできます

④ 県の申請窓口申請書類一式を提出してください(郵送可)

ただし、申請期限を超えている場合等、例外的な対応が必要な場合は事前にご相談ください。

※お近くの申請窓口は広島県のホームページをご確認ください





令和元年度 妊活セミナー

現在、日本で不妊に悩むカップルは5.5組に1組といわれています。多くの不妊治療の経験者から、「もっと早くに妊活を始めればよかった」「不妊の原因が男性にもあるとは知らなかった」との声をお聞きます。

広島県では、これから妊活や不妊治療を始める方や、不妊に関する正確な知識を知りたいと思われる方におすすめの「妊活セミナー」を開催します。ぜひご夫婦そろってご参加ください。

希望者を対象に、広島県不妊専門相談センター相談員による「個別相談会」も同時開催します。

参加
無料

事前
申込



講演

定員各60名

不妊の原因は男性・女性それぞれにあります。講演では、不妊治療や男性不妊治療の専門医の先生から、不妊の原因や治療方法等について、分かりやすくお話していただきます。

【福山会場】 9月22日(日) 13:30~15:45

(福山すこやかセンター:福山市三吉町南二丁目11-22)

講師 よしだレディースクリニック 院長 吉田 壮一 先生
いぐち腎泌尿器クリニック 院長 井口 裕樹 先生

【広島会場】 11月24日(日) 13:30~15:45

(広島市まちづくり市民交流プラザ6階 :広島市中区袋町6-36)

講師 県立広島病院 生殖医療科 主任部長 原 鐵晃 先生
いぐち腎泌尿器クリニック 院長 井口 裕樹 先生

申込方法

電話、メール、郵送、FAXのいずれかの方法で事前にお申込みください。

個別相談会は先着順となります。

希望される方には

個別相談会 (先着順 4組まで/各30分)

妊活セミナー終了後、不妊に悩む方や不妊治療中の方を対象に、専門的な相談や心の悩みなどについて、広島県不妊専門相談センター相談員がお受けします。

※ 講演会のみ、または個別相談会のみ参加も可能です。

【問合先】 広島県 子育て・少子化対策課 子育て支援グループ

082-513-3175(ダイヤルイン) 受付時間:8:30~17:00(土・日・祝日除く)

広島ホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/248/ninkatsu.html>



申込締切を確認の上、電話、メール、郵送、FAXのいずれかで、お申込みください。

 **参加申込書** 

※希望日に○をつけ、必要事項を記入してください。



【申込締切 福山:9/17(火) 広島:11/19(火)】

①希望日	9月22日:福山 ・ 11月24日:広島
②参加人数	人
③代表者名	

個別相談会を希望の方は、以下④～⑥に記入してください。後ほど参加決定の連絡を差し上げます。

④連絡先	※平日連絡がとれる電話番号
⑤現在の状況	() 妊活や不妊について知りたい。 () これから妊活を考えている。 () 妊活中、不妊治療中である。(期間/約 年 か月) () その他(具体的に:)
⑥相談内容	

いただいた個人情報は、この事業の連絡の際にのみ使用し、厳正に管理します。

電話

(082)513-3175 広島県子育て・少子化対策課

メール

fukosodate@pref.hiroshima.lg.jp

件名を「妊活セミナー申込」とし、次の事項を記入して上記アドレスに送信してください。

(④～⑥は相談会希望者のみ)

①参加希望日 ②参加人数 ③代表者氏名 ④連絡先 ⑤現在の状況 ⑥相談内容

郵送

〒730-8511 広島市中区基町10-52
県庁 子育て・少子化対策課 子育て支援グループ 宛て

本申込書に記入いただくか、メールと同じ要領で必要事項を記載し、封書で上記宛先まで郵送ください。

FAX

(082)502-3674 本申込書にご記入の上、送信してください。